

授業科目名	【G】	研究会 I・II	区分	必修	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	スポーツおよび生命・身体をめぐる法と倫理				担当者	松宮 智生		
授業概要	【概要】	<p>現代のスポーツにおける法的課題やルールに着目し、現実の事例における課題を解決するためにルールをどのようにデザインし、解釈するのが妥当であるのかを学ぶ。必要に応じて、生命・身体に関する法的・倫理的課題にも射程を広げる(例えば、スポーツにおけるドーピングの問題は、医療技術を用いた人間の身体改造(遺伝子操作等)の問題とも関連するからである)。</p> <p>履修者には、スポーツおよび生命・身体に関する報道・情報のチェックを求める。授業においては、メンバー間での議論と情報交換を積極的に行っていきたい。</p> <p>3年生には、学期末に発表(プレゼンテーション)を、4年生には、卒業論文(またはそれに準ずるレポート)を作成してもらう。</p>						
	【到達目標】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代のスポーツおよび生命・身体に関する法的・倫理的課題を理解し、論点を整理することができる。</li> <li>・学習内容をもとにテーマを設定し、自らの見解を発表することができる。</li> </ul>						
履修条件	特にないが、学修状況が良好であることが望ましい。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【○】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	「現代社会とスポーツ」「スポーツ社会学」「スポーツ法」で学ぶ内容と関連するテーマが多く扱われる。							
教科書	特になし。							
参考書	特になし。							
評価方法	発表(50%)、毎回のワークシート(50%)、演習における貢献(+a)をもとに総合的に判断する。							
フィードバック方法(※)	発表・コメント内容をもとにメンバー(学生・教員)間で議論を行う。 発表・コメント等に対して教員が講評(対面および文書)する。							
評価基準	授業の内容について理解をし、発表に積極的に取り組んだ者には「S」または「A」、理解・発表に不十分な点がある者にはその程度に応じて「B」または「C」とし、理解・発表いずれも著しく不十分な者にはその程度に応じて「D」または「E」、評価不能は「F」とする。							

授業 科目名	【G】 研究会 I・II	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
		必 修				
授業内容	<p>1. スポーツ法およびスポーツ倫理についての学習  次のようなテーマについて学び、論点を整理する。  ・スポーツにおけるルール ・スポーツとジェンダー ・スポーツと差別  ・身体的インテグリティ ・生命・身体に関する権利 等</p> <p>2. 生命倫理についての学習  必要に応じて次のテーマについて学び、論点を整理する。  ・治療とエンハンスメント ・遺伝子治療と遺伝子操作 等</p> <p>3. スポーツ・生命・身体に関する報道等の分析、スポーツ実技における実践</p> <p>4. 発 表  学習内容に基づく分析と発表</p> <p>〈アクティブラーニング〉  この科目では、各履修学生が関心をもつテーマについてプレゼンテーションを実施し、研究会のメンバー全員が各テーマについて情報を共有しつつディスカッションに臨み、研究発表の完成に向けて協同作業を行う。例えば、ある履修学生が作成した調査用資料(アンケート、ヒアリングのフォーマット等)について、他の学生が改善提案するなど、さまざまな研究テーマに主体的な姿勢で関わり、共に学び、研究発表を完成させる。</p>					
予習内容	<p>本研究会におけるテーマに関連するニュース・報道を調べること。  自分の研究テーマに関する資料を収集すること。  プレゼンテーションの準備をすること。  授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。</p>					
復習内容	<p>他の受講生や教員の見解と自分の見解とを比較すること。  議論・発表の論点を整理すること。  プレゼンテーションの改善点をまとめること。  授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。</p>					
その他	<p>特になし。</p>					